

# 吉島病院 広報紙

2014 春号  
Vol.53

患者さまと吉島病院を結ぶ情報紙

# わかば

発行日:平成26年4月22日  
発行所:吉島病院  
発行人:広報委員会

今号の  
もくじ

COPD教育入院のご案内 .....P.1  
腹腔鏡手術について .....P.2  
呼吸器の薬剤「1.吸入剤について」 .....P.2

HMネットとは .....P.3  
平成26年度呼吸・息いき教室 .....P.3



## COPD 教育入院のご案内

呼吸器センター長 大成亮次



呼吸器センターでは、“肺の生活習慣病”であるCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の患者さまを対象とした“COPD教育入院”を開設しました。COPDという病気を正しく理解し、禁煙や呼吸器感染症の予防など、生活習慣を改善するきっかけとしていただくことを目的としています。早期から適切な呼吸リハビリテーションを習得し、治療を開始していただくことで、年齢とともに進む肺の衰えを防いで、肺機能を良好に保つことができます。教育入院は、呼吸器疾患の専門医師、看護師、理学療法士、薬剤師、栄養士など様々な職種のスタッフから構成されるCOPD教育入院チームが中心となって運用します。プログラムの終了時には、呼吸器専門医師による面談を行います。患者さまの呼吸機能を評価させていただくとともに、COPDに関する様々な疑問や相談をお受けします。

### COPDとは？

タバコの煙のような有害物質を、長い間吸い込むことによって生じた炎症による肺の病気です。主な症状はしつこい咳や痰で、息苦しさはゆっくりと進行します。COPDの息苦しさの原因は、肺気腫や慢性気管支炎といった病気にみられる気流閉塞（肺からの空気の吐き出しにくさ）が原因です。日本では8.6%のかたがCOPDを患っておられ、その数は40歳以上では約530万人、70歳以上では210万人にもなります。

### 教育入院では2つのプログラムを設けています

#### ●1週間プログラム（レクチャー + 肺の健康診断 + 運動療法の習得）

COPDを正しく理解していただくために、専門スタッフによるレクチャーを行います。また、COPDに関する精密な検査を行い、患者さまの肺の健康状態を評価します。

#### ●2週間プログラム（レクチャー + 肺の健康診断 + 運動療法の習得と総合評価）

1週間プログラムに加えて、呼吸リハビリテーションスタッフが、個別に運動療法を指導します。終了時には総合的な再評価を行いますので、呼吸機能がどのぐらい改善したかなど、教育入院の効果を実感していただけます。

### 教室（レクチャー）

- ①COPDの診断と治療について（呼吸器専門医師）、②呼吸リハビリテーションについて（専門看護師）、③薬について（薬剤師）、④食事について（栄養士）、⑤運動療法全般について（理学療法士）、⑥呼吸リハビリテーションのDVD学習（自由閲覧）

### 検査項目

- ◎問診・COPDアセスメントテスト（CAT）・胸部レントゲン検査・胸部CT検査
- ◎精密肺機能検査（スパイログラフィー）・肺年齢測定・心エコー検査
- ◎血液生化学検査（肺がん腫瘍マーカー、動脈血液ガス分析を含む）・心電図
- ◎6分間歩行検査・喀痰検査（細胞診および細菌培養検査）・酸素飽和度測定（24時間）

### 費用

- ◎健康保険が適用されますので、本人負担が3割の場合、概ね以下のとおりとなります。  
☆1週間プログラム:約7万円 ☆2週間プログラム:約15万円



2014年3月21日中国新聞

## 患者さまの 権利と責任

1. 個人の尊厳は尊重され、最善で平等な医療を受ける権利を有します。
2. 治療に関する情報を知り、説明を受ける権利を有します。
3. 治療に関する方法を、自己の意思で決定する権利を有します。
4. 個人の情報（プライバシー）が、保護される権利を有します。
5. 医療関係者との信頼関係に基づき、医療への参加の責任を有します。

当院では、患者さまと医療者のパートナーシップを大切にしています。  
患者さまと医療者がお互いに協調し、良好な関係を築いてゆきたいと考えています。



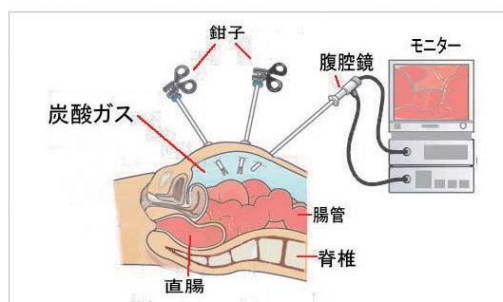


# 腹腔鏡手術について



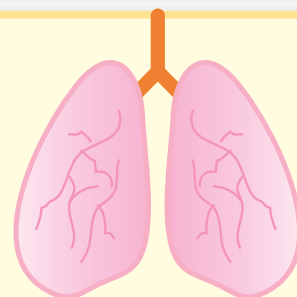
消化器外科医長 沖元 達也

お腹の中にはたくさんの臓器があり、おもだったものだけでも食道、胃、肝臓、胆嚢、膵臓、大腸などが挙げられます。このような臓器が炎症を起こしたり、癌ができたりして取り除くことが必要な場合は手術を行わなくてはなりません。胃などの手術は100年以上前から行われ、当然のことながら最近までお腹を大きく開く、いわゆる開腹手術が行われていました。しかし偉い人がいたものでもっと小さな傷で痛みの少ない手術ができないかと考え、まず胆嚢摘出から腹腔鏡という道具を用いた手術が始まりました。開腹に比べ傷が小さく、痛みも軽いことからこの手術は瞬く間に世界中に広まり、現在ではお腹全体の臓器に対して腹腔鏡を用いた手術が行われるようになってきています。腹腔鏡というのはお腹の中を見るための細いカメラのことです。太さは5mm~10mmでお腹に開けた小さな穴から挿入し、現在ではハイビジョンモニターに接続してお腹の中を見ながら鉗子と呼ばれるマジックハンドのようなものを使用して手術を行います。当院では現在胆石、胆嚢炎、大腸癌、直腸癌、虫垂炎、直腸脱に対して腹腔鏡での手術を行っておりさらに今後扱う対象を増やしていく予定にしています。



## シリーズ1 呼吸器の薬剤

# 吸入剤について



薬剤科 科長代理 篠原 健

最近CMでも耳にすることが増えてきたCOPDですが、呼吸困難を主症状とする肺の病気です。その病気の進行度で使用する薬はいろいろとありますが、治療の軸となるのが長時間作用型抗コリン薬や長時間作用型β2刺激薬といった吸入薬になります。飲み薬に比べ吸入薬は、薬が肺や気道に直接作用するため、使う薬の量も少なくすみ、全身性の副作用がおこりにくいといった特徴があります。

また、吸入薬を使用する際に大事になってくるのが使い方です。薬の肺への到達量によって効果が大きく左右されるため、きちんと吸入できているかどうかで薬の効き目も変わってしまい、飲み薬のように飲み込めば終わり、というわけにはいきません。吸入薬を上手に吸うには、しっかりと息を吐いてから、大きく吸い込む。吸入後に3~5秒息を止めるなど、ちょっとしたポイントがあります。

当院では長時間作用型抗コリン薬はスピリーバカプセル®(図1)やスピリーバレスピマット®(図2)、長時間作用型β2刺激薬はオンブレスカプセル®(図3)を採用しており、しっかりと吸入ができるよう複数の剤型を取り扱うことで選択肢を広めています。吸入がきちんとできているか不安な方は、医師や薬剤師に気軽に相談してください。



(図1)



(図2)

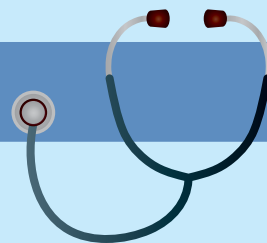


(図3)



# HMネットとは

医事課 戸田 英史郎



HMネットとは、広島県と広島県医師会が構築し運営する「ひろしま医療情報ネットワーク(Hiroshima Medical Network)」の愛称です。広島県内の20病院が「診療情報開示協力病院」として情報基盤整備事業に参加しています。当院はその中の1施設です。

当院では、2月1日から運用を開始しました。HMネットに参加した病院や医院間で診療情報を共有することで、円滑な医療と診療が可能となり、重複処方・重複検査の防止ができます。また診療情報を集積することで広域災害時に活用できます。

患者さまから診療情報開示の依頼があった場合、同意書と引き替えに診療情報開示カードを発行いたします。HMネットに参加しているかかりつけ医に開示カードを提示することで、当院にある患者さまの診療情報(患者基本情報、入院基本情報、処方情報、注射依頼情報、検体検査結果など)を医師が閲覧できます。

「診療情報開示カード」を希望される方は、外来受付でご相談下さい。



平成26年度

呼

吸

息

い

き

教

室

吉島病院  
呼吸サポートチーム

月日	内容
4月11日 金曜日	* 病気について ● 教室開催にあたってのあいさつ .....《院長》 ● 肺のしくみと病気について .....《医師》 ● 親睦を深めよう
6月13日 金曜日	* 薬について ● 呼吸不全に関する主な薬 .....《薬剤師》 * 呼吸法について ● 呼吸法について(息切れが起こったときに) .....《理学療法士》
7月11日 金曜日	* 生活の工夫と栄養について ● 日常生活の工夫(台風・停電対策など) ● 栄養について .....《栄養士》
9月26日 金曜日 (注意してください)	* 体力測定 ● 肺機能 6分間歩行 握力 身長 体重 体脂肪 等
10月10日 金曜日	* 体力測定の結果 ● 9月に行った体力測定の結果の説明 ● 運動について .....《理学療法士》
11月14日 金曜日	* 感染予防について ● 日常生活の工夫(病状の安定・感染予防) .....《看護師》 ● 排痰について .....《理学療法士》
3月13日 金曜日	* 社会資源について ● 社会資源の活用法 .....《医療ソーシャルワーカー》

## 場所

吉島病院 健康管理センター  
2階 講義室

## 日時

第2金曜日  
(※9月のみ第4金曜日)  
14:30~15:30(※今回より変更)  
※5月・8月・12月・1月・2月は  
お休みです。

呼吸器疾患の  
患者さま・ご家族の皆様は  
もちろんのこと、  
興味のある方もぜひ  
ご参加ください。



※他の医療機関からご参加頂いた場合、内容によっては質問の受け答えができかねる場合があります。ご了承下さい。